

はちおうじ だし 八王子まつりと山車



平成^{へいせい}15年^{ねん}(2003年^{ねん})、全国^{ぜんこく}有数^{ゆうすう}の伝統^{でんとう}芸能^{げいゆ}をいかしたまつりと認め^{みと}られ、「地域^{ちいき}伝統^{でんとう}芸能^{げいゆ}大賞^{たいしょう}」を受賞^{じゆしょう}した八王子^{はちおうじ}まつり。♪ぴ〜ひやらら♪というお囃子^{はやし}があちらこちらから聞こえてきて、八王子^{はちおうじ}まつりは、子ども^こも大人^{おとな}もワクワクします。

その中^{なか}でも気分^{きぶん}を最高^{さいこう}に盛り^も上げるのが、山車^{だし}のひきまわし。「い〜ちに〜のやあ〜い」という昔^{むかし}からのかけ声^{かけこゑ}がひびきわたり、それぞれの地区^{ちく}の山車^{だし}が甲州^{こうしゅう}街道^{かいどう}で競演^{きやうえん}します。

八王子^{はちおうじ}で山車^{だし}がひかれるようになったのは、いつごろでしょう。

その山車^{だし}は、どんな特徴^{とくちょう}をもっているのでしょうか。

さあ、八王子^{はちおうじ}まつりと山車^{だし}について調べてみましょう。

はちおうじ れきし 八王子まつりの歴史

しょうわ ねん ねん がつ にち まんにん ゆうすず おこな しみんさい
昭和36年(1961年)8月26日、「3万人の夕涼み」として行われた市民祭にはじまります。
このころ、はちおうじ じんこう ふく はちおうじ う そだ ひと あたら
しく住民になった人々の結びつきを強めるとともに、自分の住む土地のことをもっと好きに
なってもらおう」というねがいのもと、かいさい 富士森市民競技場(現・東京フットボー
ルセンターはちおうじ ふじもりきょうぎじょう はなび やがいえんそうかい ちゅうしん
ールセンター八王子富士森競技場)での花火や、野外演奏会が中心でした。

しょうわ ねん だい かい おも かいじょう こうしゅうかいどう うつ せいでい おこな
昭和39年(第4回)には、主な会場を甲州街道に移してパレードを盛大に行うようになり
ます。

しょうわ ねん だい かい しせいしこう しゅうねんきねんしみん
昭和41年(第6回)市制施行50周年記念市民
祭には、はじめて 12台の山車がパレードに参加、
しょうわ ねん だい かい しがい おおぜい ひと
昭和43年(第8回)には、市外からも大勢の人が
あつまるようになり、しみんだけの祭りでなくなった
ということから、「はちおうじ まつり」に名前が変わり、
かくちょうかい だし せいしき さんか
各町会の山車が正式に参加するようになりました。

はちおうじ しも まつ かみ まつ よ した
八王子には、下の祭り・上の祭りと呼ばれ、親し
まれていたまつりもありました。八幡・八雲神社
(もとよこやまちやう まつ しも まつ たがじんじや もと
本郷町)の祭りを上の祭りと呼び、300年ほどの
歴史があり、それぞれ、7月と8月に行われ、山車
がひかれていました。昭和43年、下の祭りとの
まつりがかつたい はちおうじ だし
祭りが合体し、八王子まつりで、山車のひきまわし
が行われるようになりました。

じだいじだい おう もようが おこな はちおうじ へいせい ねん だい かい
時代時代に応じ、模様替えが行われてきた八王子まつりですが、平成14年(第42回)から
は、でんとう だし ちゅうしん まつ かわ へいせい ねん だい かい ぜんこく ゆうすう
伝統の山車を中心とした祭りに生まれ変わり、平成15年(第43回)には全国でも有数の
でんとうげいのう みと はちおうじ じつこういんかい ちいきでんとうげいのうたいしやう じゆしやう
伝統芸能と認められ、八王子まつり実行委員会が「地域伝統芸能大賞」を受賞しました。

はちおうじ まち ひと たいせつ まも つた だし みこし み
八王子まつりは、町の人たちによって大切に守られ、伝えられている山車や神輿を見ることが
できるきちやう きかい
できる貴重な機会です。



みどころ
←見所のひとつ!!
たがじんじや おおみこし
多賀神社の大神輿

めいじ ねん (1882年)、
とうきやうあさくさ つた
東京浅草でつくられたと伝
えられています。おもさ やく
3,700kg(=千貫)もあり、
せんがん
かんとうゆうすう おお ほこ
関東有数の大きさを誇りま
す。

だし 山車まつりのはじまり

こうしゅうかいどう めん きゅうしがいち えどじだい
甲州街道に面した旧市街地は、江戸時代には
はちおうじ よこやま じゅうごしゆく よ しやうぎやうち はってん
八王子(横山)十五宿と呼ばれ、商業地として発展
していました。この地域は、現在の国道16号を境に、
ひがしがわ はちまん やくも じんじゃ うじこ にしがわ たが じんじゃ
東側は八幡八雲神社の氏子、西側は多賀神社の
うじこちいき わ うじこ とち
氏子地域に分かれていました。氏子とは、その土地
の守り神をまつっている地元の人々のことをいいま
す。町の人々の力が大きくなるとともに、各町内では、
きそ あ だし つく る よう になり、まつ
競い合うように山車が作られるようになり、祭り
の際に山車がひかれるようになりました。江戸時代
の享保年間(1716~1735年)からひかれるよう
になったといわれています。

だし いみ やくわり 山車の意味と役割

だし たか ところ おとず かみさま
山車とは、高い所から訪れる神様をお
むか えて、まつ ば はこ 運ぶためのもので、
うつく かざ よりしろ かみ ところ
美しく飾った依代(神さまがとどまる所)
をのせた屋台のことをいいます。祭りのと
きには、かみさま ちいき ひとびと いったい
神様と地域の人々が一体となって
たのしみ かみ よろこ
楽しみ、神さまに喜んでもらおうというこ
となのです。しだいに、だし そのものがまつ
りを盛り上げる主役になり、さまざまに
くふう され、まつ りを いろど
工夫され、祭りを彩るようになりました。

はちおうじ だし とくちやう 八王子の山車の特徴

はちおうじ か こ かい おお か し
八王子は過去に3回の大火事にあっていますが、そのたびごとに山車を焼失してしまった
まち ひとびと かね あつ だし つく なお げんざいはちおうじ だし
町の人々は、たくさんのお金を集めて、山車を作り直してきました。現在八王子にある山車の
うち、12台は、市の指定文化財になっています。それらの山車は、明治後期から昭和初期につ
くられたものが多く、昭和20年の空襲の時に、焼失を免れたものです。その時代を代表す
る宮大工(神社・寺を専門とする大工)や、東京の名匠(すぐれた腕前の職人)として活躍した
ちやうこくか くるまし めし かなぐし おお しょくにん て はちおうじ だし
彫刻家のほか、車師、塗師、金具師など多くの職人の手で作られています。八王子の山車は
ちやうこく だし ゆうめい だし りゆう はな ひと こま ちやうこく ぜんたい
彫刻山車として有名で、山車には竜や花、人などの細かい彫刻が全体にわたって組みこま
れています。あたら だし だし みごと さくひん はちおうじ だし だし きそ
新しくつくられた山車も見事な作品ばかり。八王子まつりで山車と山車が競い
あ 合う「ぶっつけ」や競演する「辻合わせ」など、山車の美しさや迫力を味わってみましょう。



たいしやう しょうわじだい かつやく
←大正、昭和時代に活躍した
ちやうこくか さとうみつげ さくひん
彫刻家・佐藤光重の作品
もとよこやまちやう だし
元横山町の山車

しらべてみましょう

ひとつのテーマについて調べる時、何冊かの本を調べることは、とても大切なことです。次にあげる参考文献は、図書館にある本の中で、小・中学生のみなさんにもわかりやすいものです。自分で調べ、まとめてみましょう。市内のどの図書館に所蔵しているかは館内OPACで検索、または職員へおたずねください。

※☆印のついているものは、特に小学生におすすめのものです。

『祭交響曲 第26番 八王子まつり』 八王子まつり実行委員会／編 1986年

八王子まつりの歴史がかかれています。

☆『八王子の山車』 八王子市教育委員会／編 1998年

指定有形文化財になっている12台の山車を解説。

『八王子歴史空間 八王子の山車祭り』 山下泰司／編 1999年

明治後期からの八王子の山車まつりの写真を集めたもの。

昔のまつりの様子を見ることができる。

『八王子の山車』(パンフレット) 1981年

各町内の山車の特徴を写真とともに紹介。

『八王子まつり 山車マップ』 八王子まつり実行委員会／編 2000年

各町内の山車の特徴を写真とともに紹介。

☆『目で見る八王子の山車まつり』 のんぶる舎編集部／編 2000年

豊富な写真と解説(150ページ)で、八王子の山車について色々な角度からまとめ

られている。昔の祭りの写真がたくさんでている。

『八王子の曳山祭』 相原悦夫／著 1975年

市内で山車を研究している方の本。大変詳しい説明。

『八王子の曳山彫刻』 相原悦夫／編著 1986年

市内で山車を研究している方の本。大変詳しい説明。

☆『市制90周年記念 八王子まつり山車・宮神輿瓦版』

八王子まつり実行委員会／編 2006年

市制施行記念ごとの山車まつりの歴史と、各町内会の山車の紹介。

『広報はちおうじ』

2000年8月1日号、2002年7月1日号、2004年8月1日号

2006年8月1日号、2009年8月1日号、2010年8月1日号

編集・発行 八王子市中央図書館

平成22年(2010年)12月

令和4年(2022年)1月 改訂